

観光で地域を活性化

広島県大型観光 キャンペーン実施中

商工観光課観光交流係 ☎0824-73-1178



新たな観光ニーズ

先月もお伝えしたとおり、最近の観光は、「見学型」から「体験型」へと変化しつつあります。体験型観光では、その内容に加えて、地域の「人々の魅力」がカギであるといわれています。今回は、市内で体験型観光に取り組まれている比和町の「越原みこと会」を紹介します。

【地域の特色を生かした取り組み】

越原地域は比婆山のふもとに位置し、その地名は比婆山伝説に由来しています。越原みこと会では、古くから伝わる地域の習慣や言い伝え、地元でとれた山菜や野菜など、地元の色を活かした四季折々の『田舎体験交流会』を開催し、都市部からも多くの参加があります。

体験交流会は、比婆山や吾妻山のみもとで育まれてきた歴史、食文化や技能などをうまく取り入れたメニューがあり、その内容は

春：野草をいれた餅つき・山菜を食べる

夏：ハンゲのちまき作り体験、比婆山神話めぐり

秋：吾妻山の黒滝と大文字草をみよう

冬：昔ながらの焼きトウフ作り、比婆山神話道のあかり（手づくりのウッドキャンドルを灯します）、ひぎぬり（水難よけの餅）としめ縄作り

などがあり、この他にも、休暇村吾妻山・比婆斎庭神楽保存会などと共同で「比婆斎庭神楽の舞い」なども開催されています。

活動についてメンバーの方からは、「参加者の皆さんと一緒に地域の魅力を掘り起こし、交流しながら学ぶことが何より楽しい」との声が聞かれました。ふれあい



山菜交流会



ちまき作り体験

を大切にし、参加者と一緒に「五感」で楽しめる比和町越原地域へお越しください。

越原みこと会ホームページ

http://ww41.tik.ne.jp/~with_m/

■問い合わせ

比和支所地域振興課

☎0824-85-3000

東城地域

千鳥別尺地区の おもてなし

東城地域の北部に、県の天然記念物に指定されたヤマザクラを昔から守り続けている地域があります。このヤマザクラが咲く頃には、田んぼの間の道が渋滞するほど多くの人が訪れます。

訪れる人を迎えてくれるのは、「別尺ヤマザクラを守る会」の皆さん。

守る会の皆さんは、私有地に駐車場や休憩所、トイレを整備し、渋滞緩和のために迂回路も整えられました。桜が満開となった休日には、子どもたちによる無料の抹茶の接待も。「この子どもたちが大人になった時、地元を誇りに思ってもらいたい。そんな願いも込めて」と会長の須田逸夫さん。

付近に食事処がないため、その日はバザーも行われます。訪れる人は毎年増え、今では「別尺地区の人たちがいるから今年も見に来たんよ」と話す人もいるほど。ぜひ一度、千鳥別尺地区を訪ねてみてください。

開花情報などの問い合わせは…
東城支所地域振興課
☎08477-2-5211



和服の子どもたちが抹茶のおもてなしをしてくれます